

# 西尾市事務事業評価シート

事務事業No.	95	事務事業名 (中事業名)		図書館利用促進事業 ( )					
予算科目	10	05	10	大事業	06	中事業	00	担当課名	図書館
総合計画施策コード	334		事務開始年度		昭和30年度		備考		
根拠法令等	図書館法第3条第6項						作成月	令和3年9月	

## 事業の概要

### ●事業の内容【PLAN】

事業の目的 (どうするために)	本の楽しさや読書の大切さを伝えるために行事等を開催し、市民の図書館に対する理解や関心を深めるなど、読書を啓発するとともに図書館利用の促進を図る。
事業の対象 (誰(何)のために)	一般市民(子どもから高齢者まで)
事業の概要 (具体的に何を)	西尾っ子読書フェスティバル、子どもと本を結ぶおはなし会、4か月児健診の際に読みかかせの大切さを伝えるブックスタート、子育て支援施設への出前講座などの子ども読書活動推進に関わる事業と、図書館まつり、講演会、講座等を開催する一般向けの利用促進を図る。

### ●事業費の内訳【DO】

項目	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)	
事業費①	1,549,595円	1,155,385円	2,854,000円	
事業にかかる人工	1.00人	1.00人	1.00人	
事業にかかる人件費②	7,187,558円	7,266,452円	7,282,778円	
総事業費③(①+②)	8,737,153円	8,421,837円	10,136,778円	
総財源業内費 の ③	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	8,707,153円	8,421,837円	9,710,778円
	その他 雑入	30,000円	0円	426,000円
R2 総事業費③の対前年度差額	-315,316円	R2 総事業費③の対前年度比率	-3.61%	
事業費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事業費の中の 主な支出項目 (R2決算額)	項目	概要		金額
	報償費	行事講師謝礼		53,000円
	消耗品費	ブックスタート配布絵本、行事等開催用消耗品		1,060,585円
	印刷製本費	ブックスタート用シール印刷		41,800円

### ●指標の設定【DO】

(事業の実施にあたり、どれだけの成果(成果指標)を得るために、どれだけの活動(活動指標)をするか。)

成果指標	○事業で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)事業の目的						
	具体的な指標	図書館入館者数					
	指標の推移	令和元年度	単位	令和2年度	単位	令和3年度	単位
	目標値	450,000	人	450,000	人	450,000	人
	実績値	426,367	人	237,409	人	*****	
活動指標	○事業全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	利用促進事業の開催件数					
	指標の推移	令和元年度	単位	令和2年度	単位	令和3年度	単位
	目標値	560	件	560	件	560	件
	実績値④	532	件	173	件	*****	
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
		16,423円		48,681円		*****	

事業の委託状況	一部委託している	委託の内容	分館の利用促進事業の企画運営
事業の終了時期	未定	事業の終了時期が未定の場合、事業の抜本的な見直し時期	未定
事業の終了時期が未定の場合の理由	図書館法第3条第6項において、「読書会、研究会、鑑賞会、映写会、資料展示会等を主催し、及びこれらの開催を奨励すること。」と規定されているため。		

**評 価**

●個別評価【CHECK】 ◎:適正 ○:概ね適正 △:適正ではない -:いずれにも該当しない

評価項目	評価項目		評価項目		
	評価	評価	評価	評価	
妥当性	市が関与することが適切か(委託・民営化は不可能)	○	効率性	単位コストは、前年を下回っているか	○
	国・県・市・民間との役割は適切か	○		事業実績や目的に対して費用がかかりすぎているか	△
	変化する社会情勢の中で、事業の意義は失われていないか	○		委託等、手段を変更してもコスト削減は期待できないか	△
	事業に対する市民ニーズを把握しているか	○		事務の手段を工夫しても業務時間は短縮できないか	△
有効性	事業の目的は達成できているか	○	公平性	受益者に偏りはないか	△
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	○		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	◎
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	○		受益者負担の割合は適切か	◎
	他市町村と比べて上位に位置しているか	○		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	△
評価の総合的なコメント	コロナ禍において、行事を中止・縮小せざるを得ないものが多くあった。また、臨時休館・サービスの制限等で入館者も大幅に減少しており、目標値には大きく届かなかった。				
事業の方向性	(評価)	3 今後は、内容を見直して事業を縮小する。			
	(理由)	これからは、withコロナでの生活様式が続くと思われる。行事の開催方法、集客人数等を見直ししていきたい。			
民間委託又は市民協働拡大の方向性	一部の事業はボランティアとの協働で実施している。また、分館については業務を委託しており、利用促進事業についても委託業者が主体となっている。				
事業全体の課題	この事業のほとんどは、行事を開催して図書館の利用を促進するというものであるが、新しい生活様式の中では、オンライン等での開催も検討していく必要がある。また、ボランティアの活動が一部再開できていないため、いつ再開する				

●近隣の状況【CHECK】

同類事業の近隣市の実施状況	近隣自治体も、同様の事業を行っている。
---------------	---------------------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	イベント等の周知にツイッターを今以上に有効活用する。(R1.12月他課職員の意見) 家でも飾れるような工作のイベントがあるとよい。(R1.12月他課職員の意見)
-----------------	---

●改善案【ACTION】

今後の改善策	事業内容や開催方法を見直し、コロナ禍においても魅力的かつ効率的、そして感染対策を行った上での行事を開催する。また、図書館活動や行事のPRの効果的な方法として、現在もやっているSNS(ツイッター、LINE)での発信を充実させる。
--------	---